



戦前の弥七喜・大坂地区 (絵葉書)

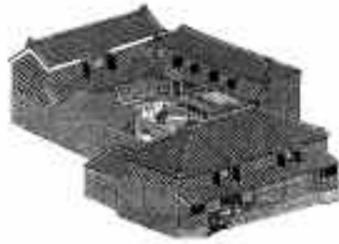
下田市教育委員会では、平成23・24年度の2か年にわたり、町並み調査を実施しています。旧市街地に残るナマコ壁の民家や商家、石蔵など、伝統的な下田の風土にあった工法で建てられた建造物(伝統的建造物)を調査研究し、文化財保護の観点から町並みの保護と保存を考えていくために行うもので、古建築の専門家に調査を依頼しています。昨年度はペリーロード周辺の弥七喜・大坂地区の建物調査を実施しました。

町並み調査を実施しています

町並みの特徴がしだいに明らかに

住民の皆様のご協力により今まで漠然としていた下田の古い建物の特徴が、学術的に明らかになってきました。いくつか挙げてみると、

- ①江戸時代の大火事や津波などの災害をきっかけに石造の家や蔵が発達した。
- ②幕末〜大正時代に建てられた家は屋根が低い傾向にあるのに対し、昭和になると建物の背丈が高くなる。
- ③多くの古い商家は通りに面して店を構え、中庭を隔てて母屋から離れて蔵を建てている。
- ④安政の大津波直後に建てられた倉が見えられた。



中庭のある明治時代の商家「日本博覧図」より



昭和初期の建物 (大正時代以前に比べ背丈が高くなっている)



大正時代以前の建物 (2階部分が低いのが特徴)

今後は、町立て(町の作られかた)について、なぜ旧市街地の道は基盤の目のように整備されているのか、そして道の一部が互い違いに交差しているのはなぜか。また、旧町の地区領域が何に基づいて決まったのか等についても研究の対象とし、調査終了後は、報告書を刊行し、市民の皆様へ報告をお知らせする報告会の開催を予定しています。



材質や構造の調査



建物外観の調査

調査にご協力お願いします
旧下田町域の伝統的建造物の分布調査を行ったところ、石蔵やナマコ壁をもつ幕末から昭和初期の民家・商家など150棟近くが残っていることがわかりました。今後は特徴的な建物について重点的に調査させていただきます。対象となる建物につきましては、事前に市教委よりお願いに伺いますので内部の構造調査等、ご理解いただける範囲で、ご協力をお願いいたします。



古写真提供のお願い
旧市街地の古い写真をお持ちの方には、生涯学習課までお知らせいただきたくお願いいたします。

問合せ先
生涯学習課 ☎ 5055

快国宣言

宣言
私達は市民の皆様のために
楽しく 笑顔で
速く 正しく
力を合わせて
働きます

2012年7月5日
下田市長 楠山俊介
下田市役所 職員一同

楠山俊介 新市長就任

就任のあいさつ

市民の皆様、こんにちは。この度の下田市長選におきまして、当選させていただきました楠山俊介であります。どうぞよろしくお願ひいたします。無投票という形でありましたが、このまちにとつて今は右か左かと争う時ではなく「前へ」と全てが一丸となる時ですので、結果的には良かったのではないかと思います。反面、選挙期間中における市民の皆様との対話、論議が不十分だったことは事実でありますので、それを補うべく市民の皆様との対話集会を早急かつ十分に開催していきたいと思ひます。

「暮らす人も訪れる人も快適なまち『快国』下田を目指して、営みが活きるまちへ・観光まちづくり、暮らしが和むまちへ・安心まちづくり、志が育まれるまちへ・実践まちづくり」をスローガンにさせていただきます。

これを具体的な事業にするために職員と共に一丸となつて取り組んでいきますので、よろしくお願ひいたします。

7月5日就任のあいさつとして、職員の皆様へ宣言を提示しました。小学生のように申し訳ないと思ひましたが、自戒の念も込め、分かりやすく標語にしました。

「楽しく、笑顔で」
仕事は楽しくやらなければいけません。たった一度の人生です。その人生で選んだ仕事です。楽しくやらなければ自分にとつても仕事にとつても全てマイナスになります。

「速く、正しく」
仕事の絶対的な要件です。このことが仕事の善し悪し能力の有無を評価します。

「力を合わせて」
個人の能力の向上は絶対要件です。そのうえで職員と職員、課と課、官と民の連携が必要で、仕事は多様化、複雑化しています。担当職員は減少しています。官民協働が必要となつていきます。それぞれの人が力を合わせる必要があります。

この宣言を通して、速くは速く、ゆっくりはゆっくりの時間をいただき、市職員が明るく充実し、市民サービスが向上することをもう一つの宣言としたいと思ひます。